

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-512578(P2005-512578A)

【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-554934(P2003-554934)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/566

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月1日(2004.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

簡素化されたかつ高効率のスクリーニング及び複製のための方法であって、  
 (a) 第1及び第2の増幅プライマーを用いて、複製可能な最初の鋳型の発現可能部分を増幅すること、  
 (b) *in vitro*で該発現可能部分を発現させて、ポリペプチドを作製すること、  
 (c) 目的の特性について該ポリペプチドをスクリーニングすること、  
 (d) 介入クローニング工程の不在下で、該複製可能な最初の鋳型を用いて宿主細胞を形質転換すること、  
 を含む前記方法。

【請求項2】

発現可能部分が、T7プロモーター、T3プロモーター及びSP6プロモーターからなる群より選択されるプロモーターを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

複製可能な最初の鋳型が、植物細胞、動物細胞、菌類細胞、又は細菌細胞において活性な複製起点を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

GCクランプが、約5～約10ヌクレオチドの長さである、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

第1のプライマーが、前記発現可能部分用のプロモーターの部位又はその上流で前記最初の鋳型の領域にハイブリダイズし、かつ第1のプライマーが完全なプロモーター配列を含まない、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

発現可能部分の増幅のための試薬、*in vitro*での転写及び翻訳のための試薬、並びに形

質転換のための宿主細胞を含む、簡素化されたかつ高効率のスクリーニング及び複製のためのキット。